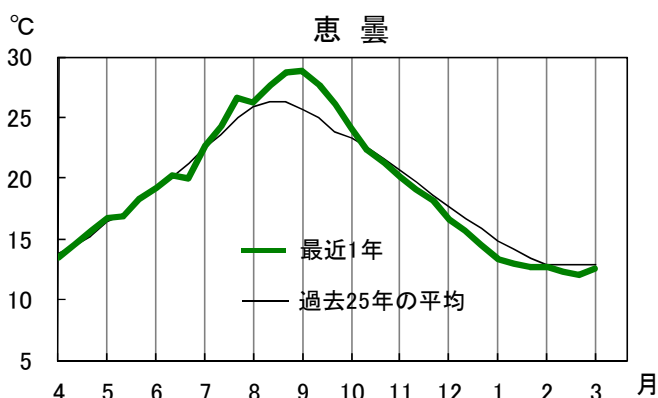
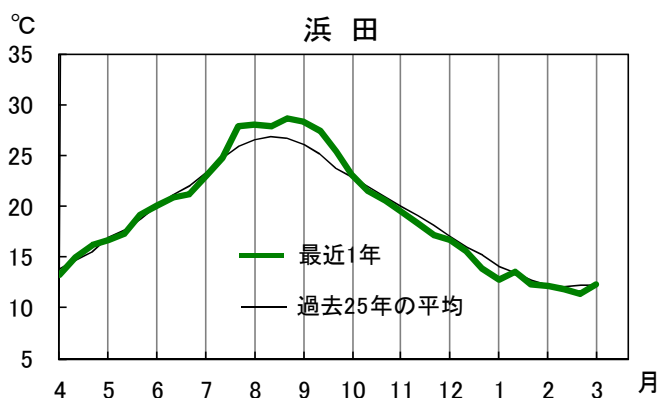




《2～3月の海況》

2月	月平均	平年差	評価
浜田	11.8℃	-0.4℃	やや低め
恵曇	12.5℃	-0.4℃	やや低め

沿岸定地水温は、浜田地区では2月は上～中旬が「平年並み」で、下旬は「やや低め」に転じましたが、3月に入り上旬時点では平年並みで経過しています。恵曇地区では2月は上旬が「平年並み」でしたが、中旬以降、3月上旬時点に入っても「やや低め」で経過しています。



《2月の漁況》

【中型まき網漁業】

県西部（浜田地区）ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は平年を上回りました。特にサバ類、マアジが好漁となり、それぞれ平年の3.5倍、2.5倍となりました。県東部（西郷地区及び浦郷地区）ではマイワシ、カタクチイワシ、マアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は平年を上回りました。特にマイワシは、2月としては近年にない好漁となりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではスルメイカのみ（全体の100%）の漁況で、1隻1航海あたりの漁獲量は979kgで平年並みでした。一方、西郷地区（属人5トン以上）でもスルメイカのみ（全体の100%）の漁況で、1隻1航海あたりの漁獲量は221kgで平年並みでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではマフグ主体の漁況でした。1統1航海当たり漁獲量は12.5トンで、平年をやや下回る水揚げとなりました。この時期にまとまって漁獲されるマフグは平年の1.3倍の漁獲がありました。主要種であるソウハチ、ムシガレイは低調に推移し、平年の5～8割の水揚げに留まりました。このほか、キダイは前月に引き続き安定した水揚げがあり、平年の1.2倍の水揚げがありました。またアンコウ、アナゴ類は平年の8割の水揚げに留まりました。

【小型底びき網漁業】

久手地区ではアカガレイ、ソウハチ、ヒレグロ主体、和江地区ではソウハチ、ヒレグロ主体の漁況でした。1隻1航海あたりの漁獲量は、久手では平年並み、和江は平年をやや上回りました。両地区ともアカガレイ、ヒレグロ、ソウハチが好調で平年の1.1～2.1倍の水揚げとなりました。一方、ニギスは平年の4～6割、アンコウは平年の8～9割の水揚げに留まり、低調に推移しました。

【定置網漁業】

石見地区ではヤリイカ、マアジ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は3.2トンでした。ヤリイカが平年の4倍と好調だったものの、マアジが平年並み、その他の魚種も平年並みもしくは下回ったことから、全統の総漁獲量は平年並みとなりました。出雲地区ではブリ、ヤリイカ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は12.7トンでした。ブリが平年の3.7倍と好調だったものの、ヤリイカが平年並み、この時期主体となるスルメイカが平年の1割に留まったため、全統の総漁獲量は平年並みとなりました。隠岐地区ではスルメイカ、マアジ主体の漁況で、1統当りの漁獲量は37.3トンとなり、全統の総漁獲量は平年並みとなりました。

【釣・縄】

石見地区ではブリ、サワラ類、ヤリイカが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は27kgで平年を下回りました。出雲地区ではブリ、ヤリイカが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は42kgで平年を下回りました。隠岐地区ではスルメイカ、カサゴ・メバル類が主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は57kgで平年を上回りました。なお、今月は時化が多く、全地区とも航海日数が平年の7～8割に落ち込みました。

【平成 25 年 2 月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	560 トン	284%	256%	18.5 トン	124%	189%	◎
	西郷	マイワシ、カタクチイワシ	4,727 トン	123%	175%	84.4 トン	132%	187%	◎
	浦郷	マイワシ、マアジ	1,850 トン	145%	197%	48.7 トン	88%	151%	◎
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	205 トン	162%	126%	979kg	79%	79%	○
	西郷	スルメイカ	2 トン	—	27%	221kg	—	133%	○
沖合 底びき網	浜田	マフゲ	287 トン	110%	80%	12.5 トン	106%	92%	○
小型 底びき網	久手	アカガレイ、ソウハチ、ヒレグロ	105 トン	80%	70%	721kg	99%	102%	○
	和江	ソウハチ、ヒレグロ	234 トン	107%	93%	895kg	119%	110%	◎
定置網 (大型)	浜田	ヤリイカ、マアジ	4 トン	前年漁獲なし	12,681%	590kg	前年漁獲なし	3,196%	◎
	美保関	ヤリイカ、ブリ	29 トン	98%	30%	414kg	112%	38%	▲
	浦郷	スルメイカ、マアジ	43 トン	234%	94%	1,799kg	243%	105%	○
釣り・縄	仁摩	ブリ、メダイ、スルメイカ	6 トン	47%	30%	34kg	81%	60%	▲
	大社	ブリ	12 トン	42%	38%	42kg	92%	61%	▲
	西郷	カサゴ・メバル類、メダイ、スルメイカ	2 トン	63%	28%	23kg	100%	60%	▲

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

本年の漁獲量が 0Kg(ほぼ 0Kg)のものは全てを－、前年の漁獲量が 0Kg(ほぼ 0Kg)のものは前年比を－、平年の漁獲量が 0Kg(ほぼ 0Kg)のものは平年比を－とした